

# SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.122〉 2018年10月19日号

## 主催事業・活動等

《 》内は派遣者

## 報告

**9/15～17…「子どもわくわく自然体験キャンプ」**41人〔福島県・ぼんだいふれあいぴあ〕《三瓶利正、小松純子、白倉由美、青木富造、板倉和也、谷野渉》



新規事業で、今年8月に台風接近により延期となったが、ひとり親家庭や児童養護施設で暮らす子どもたちを対象に2泊3日の招待キャンプを実施した。

今回はおおむね天候に恵まれ、バーベキューや野外炊事、キャンプファイヤーなど予定のプログラムをすべておこなうことができた。



**9/21～24…「フィリピン支援者訪問ボランティア」**14人〔フィリピン・マニラ市、ケソン市ほか〕《青木富造、山口千恵子》

フィリピンへの学資支援15周年を記念し、支援プログラムに協力している、あるいは活動に強い関心を持ち今後積極的に協力しようとする人を対象に実施。



期間中、マニラ市やケソン市に住む子どもたちへ日本から持参した「子ども支援バッグ」(Tシャツや文房具など)を手渡し、ケソン市パヤタスでは、SYDが支援する幼稚園や学校に通う子どもたちと歌やダンスで交流した。その後、希望者はホームステイを体験した。



3日目には学資支援を受けている子どもたちとマニラ市内のショッピングセンターに出かけ、食事と散策を楽しんだ。

マザーテレサの施設「死を待つ人の家」では、そこに暮らす人々と交流し、日本人シスターから施設の現状説明を受けた。

**9/22～24…第4回「東日本大震災被災地訪問青少年ふれあいボランティア」**22人〔宮城県石巻市・門脇東復興住宅ほか〕《志村和也、板倉和也》



参加者は住民の方へ温かい食事を提供し、昼食をともにした。その後、歌や踊りなどの出し物を発表したほか個人芸でものまねやダンスを披露し、交流活動をおこなった。

地元では「石巻復興の森植樹祭」がおこなわれており、住民の方が植樹の様子を見学し、「東日本大震災メモリアル 南浜つなぐ館」

の見学では、震災の資料を通して津波の脅威を感じた。



**9/25～28…第2回「西日本豪雨災害ボランティア」**11人〔広島県坂町〕《青木富造、板倉和也、谷野渉》



8月に続き、広島県坂町・小屋浦地区で、修養団広島県連合会の協力を得ながら、家屋の床下土砂の撤去作業、生活道路の整備などを2日間にわたっておこなった。

水害によって流れついたゴミと土砂を運び出したほか、通路をふさいでいた大木の撤去、水圧によって曲がった通路の手すりを戻す作業など、暑さが残る中で精一杯作業にあたった。



**9/28…第86回「青年ボランティア・ゼミナール」**30人〔東京都渋谷区・SYD会議室〕  
8月21～27日に実施された「青年ボラン

ティア・アクションinフィリピン」の参加者による活動報告がおこなわれた。現地の写真を見ながら当時の感想を発表したほか、現地の子どもたちと踊った歌や踊りを披露した。



**10/4…家庭《共育》ふれあい広場「秋休みバスツアー」**38人〔横浜市・崎陽軒工場ほか〕※実施団体：まちネット千修会《根岸秋吉、志村和也》



学校2学期制で秋休みのある、SYD本部近辺の小学校に通う児童とその保護者を対象に実施した。

横浜市にある崎陽軒横浜工場、日清オイロ磯子工場、三菱みなとみらい技術館を見学し、バス内では見学場所にちなんだクイズも出題され、楽しい体験と交流の1日を過ごした。

**10/6～8…「全国青年ボランティア・フォーラム」**20人〔東京都渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センター〕《青木富造、山口千恵子、市島寿里、板倉和也、谷野渉》

「想いをカタチに・・・誰かを助けるのに理由があるかい？」を全体テーマに、初日は映画「スラムドッグミリオネア」鑑賞や各地でのボランティア活動報告があった。

2日目には全体テーマに沿ってグループごとに話し合い学習をおこない、その内容をもとに寸劇を披露した。また、個人プレゼンテーションとして、一人一人が悩みや課題、そしてブレイクスルー（壁を乗り越え前進すること）についての体験を発表した。

3日目には話し合いのまとめを発表した。



10/12…第2回『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート-ストリートチルドレン支援-125人〔東京都渋谷区・SYDホール〕



NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによる第2回のチャリティーコンサートがおこなわれた。メンバーはアイルランド民謡やアメリカの作曲家・フォスターのメドレーを披露し、「ブルーシャトウ」「上を向いて歩こう」「花は咲く」など馴染みのある歌を観客とともに歌った。

また、9月の「フィリピン支援者訪問ボランティア」に参加した、メンバーのラジアン円(まどか)さんが、活動時の服装に着替え、現地の様子や感想を発表した。



10/15～17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》  
※詳細次号

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《青木富造、山口千恵子》

報告

10/ 2	北海道岩見沢市立北村中学校	100人
10/ 3	北海道札幌市立山の手小学校	98人
10/ 4	NPO法人東京ベルズ	22人
10/10	北海道紋別市立渚滑中学校	27人
10/15	沖縄県立南部商業高等学校	24人
10/16	沖縄県西原町立西原南小学校	388人
10/17	沖縄県立知念高等学校	42人
10/17	沖縄県立普天間高等学校	83人
10/18	沖縄県立浦添高等学校	83人
10/19	沖縄県那覇市立開南小学校	80人

予定

10/23	静岡県・私立浜松聖星高等学校
10/24	東京都・劇団プリズム
10/30	和歌山県立日高高等学校中津分校
11/ 1	北海道鶴川高等学校
11/ 6	香川県善通寺市立西中学校
11/10	島根県・私立開星高等学校

インターアクトクラブ

予定

11/2…第87回「青年ボランティア・ゼミナール」〔東京都渋谷区・SYD会議室〕

11/6～9…第1189回「みがく講習会」〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、中山貴生、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

11/10…ストリートチルドレン支援「チャリティーバザー」〔東京都渋谷区・SYDビル〕

11/10～12…特別開催「東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア」〔宮城県名取市・美田園第一仮設住宅ほか〕  
《板倉和也、谷野渉》

会員組織の主な動き

《 》内は派遣者

9/21…修養団愛汗喜多方、修養団福島県連合会「第8回愛汗実践塾」21人〔福島県北塩原村・グループホームさくら〕

※協力：修養団山都愛汗の会

《久世郁夫、志村和也》



会員のほか、喜多方市や北塩原村の団体職員、喜多方市等の企業から参加があった。

参加者は、童心行、講話、コミュニケーションゲーム、話し合い学習を通して「幸せの種まき」の実践への意欲を高めた。



**9/22…修養団TBSクラブ「千駄ヶ谷地区美化清掃」6人**〔東京都渋谷区・SYDビル周辺〕

JR千駄ヶ谷駅から修養団SYDビルまでの高速道路沿いの歩道を清掃した。

〈発信・田畑廣明〉

**9/24～25…SYDボランティア友の会「第12回全国護国神社巡拝の旅」7人**〔静岡県、山梨県〕



今回は静岡県護国神社、山梨県護国神社、久能山東照宮、浅間大社、武田神社に参拝し、英霊の御霊の安らかなることを念じ、親睦を深めた。

〈発信・有馬咲子〉

**予 定**

**10/20…修養団美幌会「リフレッシュセミナー」**  
(愛汗実践塾)〔北海道美幌町・町保健福祉総合センターしゃきつとプラザ〕《山崎一紀、保坂正志》

**11/2…修養団豊栄「家庭《共育》セミナー」**〔新潟県新潟市・豊栄地区公民館〕 《保坂正志》

**11/2～3…修養団新潟県連合会「役員研修会」**(愛汗実践塾)〔新潟県新潟市・菱風荘〕 《保坂正志》

**11/4…家庭《共育》ふれあい広場「笑顔の種まきセミナー」**〔東京都品川区・総合区民会館きゅりあん〕 《林御暁、保坂正志》

**情報あれこれ**

⊗「松江豊寿記念碑」除幕式



大正初期に徳島県鳴門市の板東俘虜収容所長であり、後に第9代若松市長の時に修養団会津連合会会長を務めた松江豊寿を顕彰する記念碑の除幕式が、9月22日に会津若松市の會津風雅堂前で開かれた。

公益財団法人修養団、修養団福島県連合会、修養団山都愛汗の会、修養団愛汗喜多方が記念碑建設に対し寄付をおこなった。除幕式には久世郁夫SYD専務理事、佐藤喜久司修養団山都愛汗の会会長(右写真)が出席した。

⊗「西日本豪雨災害支援金」献金



7月に発生した西日本豪雨の被災者支援として、SYDに寄せられた「幸せの種まき献金」が、9月29日、特に被害の大きかった広島県坂町に届けられた。

全国から寄せられた指定献金など40万円を修養団広島県連合会・石田博嗣会長(写真右)が持参し、担当者に手渡した。

**ご 案 内**

**各連合会・クラブから全国各地の連合会・クラブ等(約180ヶ所)へ送付を希望される印刷物(「SYDかわらばん」に同封可能な印刷物)がありましたら、毎月5日までに社会教育部にご連絡ください。**

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2  
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424  
E-mail : info@syd.or.jp  
ホームページ : https://syd.or.jp/